

「かんからさんしん」を観て

○まず、戦争の恐ろしさというものを改めて感じました。また、沖縄の戦争ということもあって、自分が思っていたものとは少し違って、沖縄独特の恐怖であったり、戦いを知ることができた。自分たちは修学旅行で沖縄に行くけど、どういう意味でいくのかということをしっかり考えて行きたいと思う。また、この戦争で亡くなられた方がたくさんいたことが分かった。しっかり平和について考えて、実際に沖縄に行って、学んだり考えたりして、これからの社会をどう進めていくのかをしっかりと考えたい。また、行くまでに、沖縄についての知識をもっと頭に入れておきたいので、ネットなどで調べて、より深く考えられるようにしたい。



○まず映画を観て改めて戦争中の生活の苦しさを知りました。今までも、沖縄で戦争があったことは知っていたけど、具体的にどうなっていたのかを知る機会が無かったので、今回それを少しでも知れて良かったです。作品は特に食料に困っているように見えました。兵として戦っている人も、ガマに避難している人も満足に食事がとれないような状態で、とてもじゃないけど力の差では勝てないような外国と戦って、本当に辛かったんだろうなと思います。そう考えると、今自分は住む場所も、着る服も食べるものもあって、昔とは比べものにならないくらい平和に暮らして、とてもとても幸せなんだなと感じました。

○沖縄戦、戦争であれだけ沢山の人が亡くなったんだと思って、とても辛い気持ちになりました。何が真実で、何がデマか、すごく困惑した状態だったんだなと思いました。爆発したアメリカ軍の飛行機に乗っていた兵も、連れてこられた朝鮮人も。日本の兵も、沖縄の人たちも、すごく苦しい思いをしたんだなと思いました。今の時代にもたらされている「平和」がいかにすごいことで、感謝すべきことなのかが深く分かったので、もっと「平和」について考えて生活していきます。

○この映画を観て思ったことは、「修学旅行で学ぶことはたくさんある」ということです。僕は戦争を経験していません。だから辛さが分かりません。映画や話を聞いて「戦争はダメだ」と言う人は多いけど、本当に当時の辛さを理解していないと思います。沖縄に行っても分からないかも知れません。でもそれだけわかりにくいことだからこそ、現地まで行き、考え、分かろうとすることが重要だと思います。「分からなくても分かろうとする」ということが修学旅行の取り組みにおいて大切だなと感じました。

○「かんからさんしん」を観て、戦争の恐ろしさや怖さというのは言葉やものに例えることができないくらいすごいものなんだなと感じました。食料や水がどれだけ人の命を救えるか、どれだけ大切なものかなど、いろんなことを知ることができました。これからこの戦争で亡くなった人のことを忘れず、命の大切さや、ものや食料の大事さや必要さを知り、沖縄に行っているいろんなことを学び、今の1年生や、弟、妹などに伝えていけたらいいなと思いました。

○見ていると、とても悲しい思いになりました。負けがわかっている自分にも言い聞かせて戦いに行く姿、自ら爆弾で命を絶つ姿を見ていると、戦争の恐ろしさがよく分かりました。3年生で沖縄に行ったとき、沖縄にしかない戦争に関するもの、戦争のことを知っている人に話を聞いて、まず自分が知りたいと思いました。戦争になると、食べ物も飲み物も無くなり、精神的にもおかしくなって、誤った行動をとってしまうこともあったと思う。戦争（争い）をしても何も嬉しいことは生まれないから、ほんとうにもう二度としないほしい。

○内容がちょっと難しくて全然分からなかった。けど、沖縄はイメージ的には海がきれいで、文化がすごいみたいなことしか無かったのに、この映画をみたら、ちょっと沖縄に軽い気持ちで行ったらあかんって思った。

○戦争の映画は初めて観た。小学校の頃、広島に行ったとき、原爆は恐ろしいことを学んだ。沖縄では地上戦が行われ、多くの人が亡くなった。今回「かんからさんしん」を観て、戦争をしているときは、今では考えられない生活ばかりだった。今では簡単に手に入る水も、この当時では貴重なもの。鉄砲で人を撃つこともあたりまえ。人を狂わす戦争の恐ろしさを改めて感じた。そんな中でも、沖縄の人々の命を救ったのは、島に住む人々の協力であると思う。この映画では三線と歌を通じて、島の人々が団結した。沖縄だからできたことだと思う。大切な人を奪う武器を世界中からなくすことが今の課題だと思う。修学旅行で沖縄に行くときはもっと平和について考えたい。

○戦争は毎日が地獄のようだということが以前よりも知ることができました。食べ物や水が無く、辛い思いをしている人がほとんどで、今の人生がどれだけ恵まれていることかなど、普段あまり考えないことがたくさん浮かんできました。今平和に過ごしているけど、戦争の日々だったら、家族と過ごすこともできない人もいたり、どれだけ心も傷つくかなどの思いが心の底からわいてきました。なので、家族や友だちを大切に、平和に過ごしていることに感謝したいです。

○小学6年生の時に、広島について勉強しました。当時私は平和学習実行委員で、千羽鶴を作ったり、音読をしたり、折り鶴を歌ったりなどいろいろなことをしました。そして広島へ行き、平和資料館でとても悲しいものを見てきました。そして今日「かんからさんしん」という沖縄戦のことについての映画を見て、広島とは違う事を学習しました。その中で一番心に残っているのが、日本が戦争で負け、殺される前にみんな自決しようとしたことです。それほどまでに追い詰められ、辛い日々を送っているのを見て、とても悲しくなりました。5月には沖縄に行きます。日本のため、みんなのためと戦ってくださった人々にしっかりと祈りを捧げたいと思いました。

○この映画を観ている時、何度か「戦争」について考えていました。罪の無い人を殺して、自分の国を自分たちで壊していき、そこまでして何がしたかったのかよく分かりません。逃げようとしても殺される、戦争に行っても殺される、そう考えると今は本当に平和なんだと感じました。ただ、この戦争を忘れてしまっただけは何の価値もありません。修学旅行ではこの目で戦争というものを見てこようと思いました。